

活用につながる読むことの授業づくりに関する研究

— 「読みのフレーム」による教科書教材の特性の分析 —

東京学芸大学附属小金井小学校国語科研究部 川 畑 秀 成
大 塚 健太郎
片 山 守 道
細 川 太 輔
吉 永 安 里

目 次

1. 研究の構想	70
1. 1. 研究の概要	70
1. 2. 読みのフレーム	70
【表1】「読みのフレーム」試案	70
1. 3. 「活用」につながる読むことの授業	71
2. 研究の取り組み	71
2. 1. 小学校国語科新教科書教材の特性分析表の作成	71
【表2】第1学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】	71
【表3】第1学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】	72
【表4】第2学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】	73
【表5】第2学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】	74
【表6】第3学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】	74
【表7】第3学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】	75
【表8】第4学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】	76
【表9】第4学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】	76
【表10】第5学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】	77
【表11】第5学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】	78
【表12】第6学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】	78
【表13】第6学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】	80
2. 2. 活用につながる「読むこと」の授業実践例	81
【表14】「読むこと」の授業実践における活用の活動例	81
3. 成果と課題	81
3. 1. 研究の成果	81
3. 2. 今後の課題	82

活用につながる読むことの授業づくりに関する研究

— 「読みのフレーム」による教科書教材の特性の分析 —

東京学芸大学附属小金井小学校国語科研究部 川 畑 秀 成
大 塚 健太郎
片 山 守 道
細 川 太 輔
吉 永 安 里

1. 研究の構想

1. 1. 研究の概要

本校国語部では平成16～18年度にかけて「読みの技術」をとりあげて文学的文章の学習指導に、平成19～20年度にかけては「読みの観点」を説明的文章の学習指導に生かす研究をおこなった（詳細は平成18年度、20年度本校研究紀要参照）。それを「読む」という行為に鑑みて一つにまとめ、「読みのフレーム」として整理した。

「読みのフレーム」を生かして学んだことを国語科の学習の中や国語科以外の学習で、さらには、日常生活に生きてはたらかせることを「活用」ととらえ、読むことの学習を単なる本文の読解のみに終わらせることなく「活用」につながる読むことの学習をつくっていきたいと考え、学習材の分析を行い、実践してきた。

1. 2. 読みのフレーム

【表1】「読みのフレーム」試案（主なもののみ）

読みの段階	文種	読みの重点			
		① 設定・素材	② 表現	③ 構成・展開	④ 作品・テーマ
内容を とらえる	文学	登場人物 中心人物 人物の性格 設定（時・場・人物）	地の文・会話文 心情表現 情景描写	あらすじ 出来事・事件 場面	初発の感想
	説明文	題材 事例 中心語句	常体・敬体 呼びかけ	順序（時間・事柄）	初めて知ったこと もっと知りたいこと
書き方の 工夫に気づく	文学	視点・視点人物 （一人称・三人称） 対象人物 呼称表現の意味 人物描写の特徴	表現技法や修辞法と その効果（対比・類比・ 比喩・擬人法・擬声語・ 擬態語・色彩語など） リズム 文脈における語の意味	全体の構成 （起承転結） 伏線 展開の予測 （スキーマ）	同化・異化
	説明文	中心となる語句や文 要点をつかむ ノンフィクション・ ドキュメンタリー	事実と意見 問いと答え 文末表現、接続語	段落構成 （序論・本論・結論） 頭括・尾括・双括型 段落相互の関係 （1事例解説型・多事例 解説型・課題解説型・ 仮説検証型など） オープンエンド	結論をとらえる テーマを考える
内容や 書き方から 解釈する	文学	人物像 人物の変容 視点の転換や効果	文体とその効果 （余情表現・作調など） 象徴・重要語句	事件や人物の転換点 （クライマックス） 展開の意味	主題 作品への共鳴 作者の思想
	説明文	要約・要旨	文体の効果（文末表現・ 常体と敬体・呼びかけ等） 図・写真・挿絵の意味	論の展開の評価 事例の検討	主張をとらえる 筆者について知る 筆者の論理
自分の考えを もとにして 表現する	文学	「設定・素材」「表現」「構成・展開」の関連付け・統合			作品を享受する 自己の考え方・ 生き方への反映 作品に基づく 自分の考えの発信
説明文					

* 上記の表は、児童の実態や学習材の特性、指導のねらい等に応じてフレーム箇所を選択し、指導者が読みの重点化を図るようするためのものである。したがって、「読みの段階」も難易度による区分ではない。

このような読みの重点を明確にすることで、児童が言葉や叙述にこだわりながら読みの根拠を明らかにして話し合うことができるようになった。まず言葉や叙述を正しく受け止めた上で、自分の意見を友達に伝えようという姿がみとめられるようになってきた。

1. 3. 「活用」につながる読むことの授業

「読みのフレーム」を取り入れることで、叙述に基づいて読みの交流が行われるようになってきたが、児童が学びの必要感をもち学習意欲が向上しているか、身についた読む力をどう生かすかという実感をもって児童が学習しているか、といった課題も見えてきた。そこで、「活用」という概念を取り入れることにした。

現在、「活用」という語は、新学習指導要領に取り上げられたため様々なところで目にするようになったが、その解釈は多様である。さらに「話す・聞くこと」や「書くこと」に比べ、「読むこと」の活用する過程は見えにくい。そこで、本校では「何を」「どこで」活用するのかという2つの側面とその要素に着目した。「学習した内容」・「学習した方法」・「学習した能力」「学習で醸し出された興味・関心」を「国語科内で」・「他教科で」・「日常生活で」どのように活用するかを明確にした単元を構想することにしたのである。

つまり、人物像をとらえて心情曲線に表すことも「学習した内容」を「教科内で」活用することであり、物語のおもしろさを読書生活につなげることも「学習内容」を「日常生活で」活用することである。このような学んだことをどのように活用するかという単元の構想をしっかりとって授業を行うことにしたのである。

「活用」を2側面とその要素からとらえることで、児童は目指す学びの姿をイメージしながら目的をもって自ら学ぶことができるようになる。また、教師も単元のどの段階で、何を活用するのかというより具体的な単元の見通しをもつことができる。何のために学ぶのかという目的意識を明確にすることは児童の学ぶ必要感を喚起し、学習意欲を向上させていこう。

単元構想で「活用」を意識することは、「話す・聞く」「書く」など他領域の言語活動を総合的に行うことに繋がる。「読むこと」の学習を核として、他領域や他教科、さらに実生活での有機的な言語活動を行う単元を構想することができる。そこでは、言葉本来の双方向的な言語活動が行われ、豊かな言葉の使い手を育むことになる。

2. 研究の取り組み

2. 1. 小学校国語科新教科書教材の特性分析表の作成

平成23年度版の小学校各社教科書の全ての読むこと教材について「読みのフレーム」を用いて教材分析を行い、それぞれの教材の特性を各学年毎の一覧表として整理した（表2～表13参照）。

【表2】第1学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】

(担当：大塚健太郎)

「学習材名」(筆者・作者) ※ は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		① 素材	② 表現	③ 構成	④ 作品		
「けむりの きしゃ」	教出1上	◎	○	◎	○	①登場人物 ③あらすじ	
「けんかした 山」(安藤美紀夫)	教出1上	◎	○	◎	○	①中心人物 ③出来事	
「はなの みち」(岡信子)	光村1上	◎	○	◎	○	①設定 ③出来事	
「おむすび ころりん」(羽曾部忠)	光村1上	○	○	○	◎	④同化	昔話
「ゆうだち」(森山京)	光村1上	◎	○	◎	◎	①登場人物 ③あらすじ ④同化	
「かいがら」(森山京)	東書1上	◎	◎	◎	○	①登場人物 ②会話文 ③あらすじ	
「いいもの みつけた」	学図1上	◎	○	◎	○	①登場人物 ③あらすじ	
「たぬきの じてんしゃ」	学図1上	◎	○	◎	○	①登場人物 ③あらすじ	
「うみの 水は なぜ しよっぱい」(木坂亮)	学図1上	◎	○	◎	◎	①人物の性格 ③あらすじ 出来事 ④感想	昔話
「にくを くわえた いぬ」(川崎洋)	三省1上	○	○	◎	◎	③あらすじ ④感想	
「どうぞの いす」(香山美子)	三省1上	◎	○	◎	○	①登場人物 ③あらすじ	

「おおきな かぶ」 (ロシア民話 内田理沙子訳 (西郷竹彦) (アレクセイ=トルストイ再話)	教出1上 光村1上 東書1上 学図1上 三省1上	◎	○	◎	◎	①登場人物 ③あらすじ ④同化	全社載録
「月よに」 (安房直子)	学図1上	◎	○	◎	○	①登場人物 ③あらすじ	*資料編
「ちょうちょう ひらひら」 (まど・みちお)	三省1上	◎	◎	○	○	①登場人物 ②心情表現	*読書の森で
「りすの わすれもの」 (松谷みよ子)	教出1下	○	◎	◎	○	②会話文 ③あらすじ 出来事	再録
「天に のぼった おげやさん」 (水谷章三)	教出1下	○	○	◎	◎	③出来事 ④感想	言語文化
「うみへの ながい たび」 (今江祥智)	教出1下	◎	○	○	◎	①設定 ④感想	
「お手がみ」 (アーノルド=ローベル 三木卓訳)	教出1下	◎	◎	◎	◎	①人物の性格 ②会話文 ③あらすじ 出来事 ④同化	他社は2年で 載録
「おじさんの かさ」 (佐野洋子)	教出1下	◎	○	○	◎	①人物の性格 ④感想	*付録
「くじらぐも」 (中川李枝子)	光村1下	◎	◎	◎	◎	①設定 人物の性格 ②会話文 ③あらすじ 出来事 ④同化	
「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 (ハンス=ウィルヘルム)	光村1下	◎	◎	○	◎	①登場人物 人物の性格 ②心情表現 ④感想	
「たぬきの 糸車」 (岸なみ)	光村1下	◎	○	◎	○	①登場人物 人物の性格 ③あらすじ	
「だって だっての おばあさん」 (佐野洋子)	光村1下	◎	○	◎	○	①登場人物 設定 ③あらすじ 出来事	
「まの いい りょうし」 (稲田和子 つついえつこ)	光村1下	○	○	◎	◎	③あらすじ 出来事 ④感想	読み聞かせ教 材テキスト版
「サラダで げんき」 (角野栄子)	東書1下	◎	○	◎	○	①登場人物 ③あらすじ	
「おとうとねずみ チロ」 (森山京)	東書1下	◎	○	◎	○	①自分の性格 ③あらすじ 出来事	
「花 いっぱいに なあれ」 (松谷みよ子)	東書1下	○	◎	○	◎	②情景描写 ④感想	学図2上 所収
「花さかじい」 (松谷みよ子)	東書1下	◎	○	◎	◎	①人物の性格 ③あらすじ 出来事 ④感想	*付録 昔話
「はじめは「や!」」 (香山美子)	学図1下	○	◎	◎	○	②会話文 心情表現 ③あらすじ	
「ろくべえ まってろよ」 (灰谷健次郎)	学図1下 三省1下	◎	◎	◎	○	①登場人物 ②心情描写 ③あらすじ	*読書の森で
「あいして いるから」 (マージョリー=ニューマン ひさやま たいち訳)	三省1下	◎	◎	○	◎	①登場人物 ②心情表現 ④感想	
「いなばの 白ウサギ」 (宮川ひろ)	三省1下	○	○	◎	◎	③あらすじ 出来事 ④感想	教出2上 所収 神話
「夕日の しずく」 (あまんきみこ)	三省1下	◎	◎	○	◎	①登場人物 設定 ②心情表現 擬態語 ④感想	学図2上

【表3】第1学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】

(担当：大塚健太郎)

「学習材名」(筆者・作者) ※ は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備 考
		① 素 材	② 表 現	③ 構 成	④ 作 品		
「なにが、がくれているのでしょうか」	教出1上	◎	◎	○	◎	①題材 ②呼びかけ 問いと答え ④もっと知りたいこと	
「だれが、たべたのでしょうか」	教出1上	◎	◎	○	○	①題材 ②呼びかけ 問いと答え	
「くちばし」 (むらた こういち)	光村1上	◎	◎	○	◎	①題材 ②呼びかけ 問いと答え ④もっと知りたいこと	
「みいつけた」 (おおの まさお)	光村1上	○	○	◎	◎	③段落相互の関係(多事例解説型) ④もっと知りたいこと	
「どう やって みを まもるのかな」	東書1上	○	◎	◎	◎	②挿絵の意味 ③順序 段落相互の関 係(多事例解説型)	
「いきものの あし」	学図1上	◎	◎	○	○	①題材 ②呼びかけ 問いと答え	
「しっぽ しっぽ」 (ほり ひろし)	三省1上	◎	◎	◎	◎	①題材 ②問いと答え ③段落相互の関係(多事例解説型) ④もっと知りたいこと	
「はたらく じどう車」	教出1下	○	◎	◎	◎	②接続語 ③順序 ④もっと知りたいこと	
「みぶりで つたえる」 (のむら まさいち)	教出1下	◎	◎	◎	○	①事例 ②図の意味 ③尾括型	
「じどう車くらべ」	光村1下	○	○	◎	◎	③順序 段落相互の関係(多事例解説 型)	
「ものの 名まえ」	光村1下	○	◎	◎	◎	②接続語 ③順序 ④もっと知りたい こと	

「どうぶつの 赤ちゃん」 (増井光子)	光村 1 下	◎	◎	◎	◎	①事例 ②問いと答え ③段落相互の関係 (多事例解説型) ④初めて知ったこと	増補 カンガルー
「いろいろな ふね」	東書 1 下	○	◎	◎	◎	②写真の意味 ③順序 ④もっと知りたいこと	
「歯が ぬけたら どう す るの」 (セルビー・ビラー こだま ともこ訳)	東書 1 下	◎	○	◎	◎	①事例 ③段落相互の関係 (多事例解説型) ④初めて知ったこと	
「まめ」	学図 1 下	○	◎	◎	○	②接続語 ③順序 段落相互の関係 (多事例解説型)	
「くらしを まもる 車」	学図 1 下	○	◎	◎	◎	②問いと答え ③段落構成 ④もっと知りたいこと	
「ぼうしの はたらき」 (よこや まり)	三省 1 下	○	◎	○	◎	②問いと答え 図の意味 ④もっと知りたい	
「なにが できるかな」 (なかむら ともひこ)	三省 1 下	◎	◎	◎	○	①題材 ②挿絵の意味 ③順序	

【表4】第2学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】

(担当：片山守道)

「学習材名」(筆者・作者) ※ は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備 考
		① 素 材	② 表 現	③ 構 成	④ 作 品		
「ひっこしてきたみさ」(安藤美紀夫)	教出 2 上	◎	○	◎	○	①時・場・人物 ②心情表現 ③順序	
「ふきのとう」 (工藤直子)	光村 2 上	◎	◎	○	○	①人物 ②会話文 情景描写 ④音読表現	
「かくれんぼ」 (竹下文子)	東書 2 上	○	◎	○	○	①人物 ②会話文 ④音読表現	
「花いっぱいになあれ」 (松谷みよ子)	学図 2 上	◎	○	◎	○	①人物の行動 ③あらすじ ④音読表現	東書 1 下 所収
「たろうのともだち」 (村山恵子)	三省堂 2	◎	◎	○	○	①人物の性格 ②会話文 心情表現 ④音読表現	
「いなばのしろうさぎ」 (福永武彦)	教出 2 上	◎	○	○	◎	①設定 人物 ④感想	神話
「ヤマトノオロチ」 (木坂亮)	学図 2 上	○	◎	○	◎	②語の意味 ③展開 ④おもしろさ	神話
「スイミー」 (レオ=レオニ 谷川俊太郎訳)	光村 2 上 学図 2 上	◎	◎	◎	○	①人物の心情変化 ②比喩 情景描写 ③出来事・事件	
「きつねのおきゃくさま」 (あまんきみこ)	教出 2 上 三省堂 2	○	◎	◎	○	①語り手 ②語り口調 ③繰り返し クライマックス	
「お手紙」 (アーノルド=ローベル 三木卓訳)	東書 2 上 光村 2 下 学図 2 下 三省堂 2	◎	○	○	◎	①人物の性格 人物像 ②会話文 ③あらすじ 全体の構成	全社載録 教出 1 下 所収
「あしたも友だち」 (内田倫太郎)	東書 2 上	◎	○	○	◎	①人物の性格 心情 ④感想 共感	*付録
「夕日のしずく」 (あまんきみこ)	学図 2 上	◎	◎	○	○	①人物の様子 心情 ②会話文	*資料編 三省堂 1 下
「名前を見てちょうだい」 (あまんきみこ)	東書 2 下	◎	○	◎	○	①人物設定 ②地の文・会話文 ③展開	
「わにのおじいさんの たからもの」 (川崎洋)	教出 2 下	◎	○	○	◎	①人物の心情 視点人物 ③場面 ④感想 作品の面白さ	再録 学図 3 下
「かさこじぞう」 (岩崎京子)	教出 2 下 東書 2 下 学図 2 下 三省堂 2	◎	◎	○	○	①人物の性格 心情 ②語り口調 リズム オノマトペ	
「ないた赤おに」 (浜田広介)	教出 2 下	◎	○	◎	◎	①人物の関係 ②心情表現 ③場面展開 ④感想 主題	
「わたしはおねえさん」 (石井睦美)	光村 2 下	◎	○	○	◎	①人物の様子 ③順序 展開 ④感想	
「ニャーゴ」 (宮西達也)	東書 2 下	◎	◎	○	○	①人物 ②語の意味 ③場面展開	
「アレクサンダとぜんまいねずみ」 (レオ=レオニ 谷川俊太郎訳)	教出 2 下	◎	◎	◎	○	①人物の関係 人物の心情変化 ②地の文・会話文 倒置法 ③事件 全体の構成	
「フレデリック」 (レオ=レオニ 谷川俊太郎訳)	三省堂 2	◎	◎	○	○	①人物の性格 ②倒置法 体言止め	
「スーホの白い馬」 (大塚雄三)	光村 2 下	◎	○	◎	◎	①人物設定 心情 ③出来事・事件 ④感想	
「スーフと馬頭琴」 (モンゴル民話)	三省堂 2	◎	○	◎	◎	①人物設定 心情 ③出来事・事件	*別冊
「ちょうちょだけに、 なぜなくの」 (神沢利子)	教出 2 下	◎	○	○	◎	①中心人物 ④感想	*付録
「十二支のはじまり」 (谷伸介)	光村 2 下	◎	○	◎	○	①登場人物 人物の関係 ③展開	*付録 昔話
「古屋のもり」 (坪田譲治)	三省堂 2	○	◎	◎	○	①人物の性格 ②語の意味 ③あらすじ	*別冊

【表5】第2学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】

(担当：片山守道)

「学習材名」(筆者・作者) ※■は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		①素材	②表現	③構成	④作品		
「すみれとあり」(矢間芳子)	教出 2 上	○	○	○	○	①題材 ②接続語 ③順序	
「たんぼのちえ」(植村俊夫)	光村 2 上	○	○	○	○	①題材 ②接続語 ③順序	
「たんぼぼ」(平山和子)	東書 2 上	○	○	○	○	①題材 ③順序	
「はたるの一生」(佐々木紺)	学図 2 上	○	○	○	○	①重要語句 ③順序 ④感想	
「つばめのすだち」(本若博治)	三省堂 2	○	○	○	○	①題材 ③順序 ④作品への関心	
「どうぶつ園のじゅうい」(うえだみや)	光村 2 上	○	○	○	○	①事例 ③順序	
「鳥のちえ」(樋口よしひろ)	教出 2 上	○	○	○	○	①事例 ③順序	*付録
「ふるしきは、どんなぬの」	東書 2 上	○	○	○	○	②表現技法 効果	
「さけが 大きくなるまで」	教出 2 下	○	○	○	○	①題材 事例 ③順序	
「あいさつのみふりとことば」	学図 2 下	○	○	○	○	①事例 ②問いかけ	
「たねのたび」(中西広樹)	三省堂 2	○	○	○	○	①題材 ③構成 ④テーマ	
「ビーバーの大工事」(中川史郎)	東書 2 下	○	○	○	○	①題材 ③説明の順序	
「きつつき」	教出 2 下	○	○	○	○	①題材 ②箇条書き 重要語句 ③順序	
「しかけカードの作り方」(ふるうちひかる)	光村 2 下	○	○	○	○	①題材 ②説明のしかた 箇条書き ③説明の順序	
「ゴムでうごくおもちゃのしくみ」	学図 2 下	○	○	○	○	①題材 ②説明のしかた 見出し ③構成 説明の順序	
「紙パックで、こまを作ろう」(今井美沙)	三省堂 2	○	○	○	○	①題材 ②接続語 ③順序	
「おにごっこ」(森下晴美)	光村 2 下	○	○	○	○	①題材 ②説明のしかた 表現の工夫	
「虫は道具をもっている」(沢口珠美)	東書 2 下	○	○	○	○	①事例 ③構成 ④結論	
「せかいのあいさつ」(柴田武)	教出 2 下	○	○	○	○	①題材 事例 ④結論	*付録

【表6】第3学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】

(担当：川畑秀成)

「学習材名」(筆者・作者) ※■は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		①素材	②表現	③構成	④作品		
「消しゴムころりん」(岡田淳)	教出 3 上	○	○	○	○	①人物の変容 視点人物 ②会話文 心内語 ジェスチャー等の表現の違い	
「俳句にしたしむ」	教出 3 上	○	○	○	○	②韻文のリズム ④昔の人の見方	
「わすれられないおくりもの」(スーザン=バーレイ)	教出 3 上 三省堂 3	○	○	○	○	①人物像 人物の変容 語り手 ②心情表現 情景描写 ③時間 (入れ子型・夢、思い出)	
「きつつきの商売」(林原玉枝)	光村 3 上	○	○	○	△	②会話文 オノマトベ ③場面の対比	
「海をかつとばせ」(山下明生)	光村 3 上	○	○	○	○	①人物像 ②行動描写 会話文	
「いろはにほへと」(今江祥智)	光村 3 上	○	○	○	○	①人物像 語り手 ②類比 反復 ③構成	
「すいせんのラッパ」(工藤直子)	東書 3 上	○	○	○	○	①人物像 ②会話文 オノマトベ	
「ゆうすげ村の小さな旅館」(茂市久美子)	東書 3 上	○	○	○	○	①人物像 視点人物 ②会話文 伏線	
「じゅげむ」(川端誠)	東書 3 上	○	○	○	○	①人物像 ②会話文 ③展開のおもしろさ	落語
「つり橋わたれ」(長崎源之介)	学図 3 上	○	○	○	○	①人物像 視点人物 人物の変容 ②オノマトベ 行動描写	
「あらしの夜に」(木村裕一)	学図 3 上	○	○	○	○	①人物像 視点人物 ②会話文 情景描写 ③展開の予測 題名の意味	
「わたしたち手で話します」(フランツ=ヨーゼフ・ファイニク)	学図 3 上	○	○	○	○	①人物設定 ②会話文 ④生き方を考える (共生)	付録
「ピータイルねこ」(岡田淳)	三省堂 3	○	○	○	○	①人物像 視点人物 ②会話文 ③展開予測	
「うさぎのさいばん」(キム=セシル)	三省堂 3	○	○	○	○	①人物像 ②会話文 オノマトベ ③展開のおもしろさ	
「えんぴつびな」(長崎源之介)	三省堂 3	○	○	○	○	①人物像 視点人物 語り手 ②会話文 ④戦争文学として	資料編 戦争文学
「ちいちゃんのかげおくり」(あまんきみこ)	光村 3 下	○	○	○	○	①人物設定 ②対比 (かげおくり) 情景描写 ③状況の変化 クライマックス ④戦争文学として	戦争文学

「三年とうげ」 (李錦玉)	光村 3 下	◎	◎	○	○	①人物像 語り手 ②情景描写 歌の意味 オノマトベ ③昔話の型	世界の昔話
「とらとおじいちゃん」 (アルビン＝トレセルト)	光村 3 下	◎	◎	◎	○	①人物像 ②会話文 ③展開のおもしろさ	脚本
「モチモチの木」 (齊藤隆介)	教出 3 下 光村 3 下 学図 3 下 三省堂 3	◎	◎	◎	○	①人物像 人物設定 語り手 ②対比 呼称表現 擬人法 象徴 情景描写 ③クライマックス	
「おにたのぼうし」 (あまんきみこ)	教出 3 下 三省堂 3	◎	◎	◎	○	①人物像 視点の変化 ②情景描写 対比 オノマトベ 象徴 ③伏線 事件	
「ソメコとオニ」 (齊藤隆介)	教出 3 下	◎	◎	○	○	①人物像 (性格) ②会話文 対比 (ソメコとオニ)	
「サーカスのライオン」 (川村たかし)	東書 3 下	◎	◎	◎	○	①人物の変容 視点人物 ②会話文 行動描写 ③場面の变化 クライマックス	
「木かげにごろり」 (金森襄作)	東書 3 下	○	◎	◎	○	①人物像 ②会話文 ③展開のおもしろさ	世界の民話
「手ぶくろを買いに」 (新美南吉)	東書 3 下 三省堂 3	○	◎	◎	◎	①人物像 ②会話文 情景描写 ③展開の予測 ④人間理解	
「わにのおじいさんの たから物」 (川崎洋)	学図 3 下	◎	◎	◎	○	①人物像 ②会話文 行動描写 ③展開の予測	教出 2 下 所収

【表7】第3学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】

(担当：川畑秀成)

「学習材名」(筆者・作者) ※■は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		①素材	②表現	③構成	④作品		
「めだか」 (杉浦宏)	教出 3 上	◎	◎	◎	○	①中心語句 ②問いと説明 ③多事例解説型 尾括型	
「森のスケーターやまね」 (湊秋作)	教出 3 上	○	◎	◎	○	②問いかけ-説明-主張 ③一課題多例示型 尾括型	付録
「イルカのねむり方」 (幸島司郎)	光村 3 上	○	◎	◎	○	②問いと答え ③一課題追究型	
「ありの行列」 (大滝哲也)	光村 3 上	◎	◎	◎	○	①要約 ②問い-実験-研究-結論 接続語 ③仮説検証型	
「自然のかくし絵」 (矢島稔)	東書 3 上	○	◎	◎	○	②問いかけなし解説文 題名の意味 ③一課題多例示型 尾括型	
「にせてだます」	学図 3 上	○	◎	◎	○	②問いと答え 指示語 ③一課題解説型	
「合図としるし」	学図 3 上	○	◎	◎	○	②問いと答え 接続語 絵や写真 ③多事例解説型	
「米と麦」 (吉田久)	三省堂 3	○	◎	◎	○	②中心語句 問いと答え 接続語 ③一課題解説型 (二例対比説明)	
「『農業』をする魚」 (新田末広)	三省堂 3	○	◎	◎	○	②地図や写真 文末表現 中心語句 ③一課題解説型	
「すがたをかえる大豆」 (国分牧衛)	光村 3 下	◎	◎	◎	○	①要約 ②写真 接続語 問いなし解説文 ③一課題多例示型 尾括型	
「くらしと絵文字」 (太田幸夫)	教出 3 下	○	◎	◎	○	②図や絵 ③一課題多例示型 説明の順序 尾括型	
「どちらが生たまごでしょう」	教出 3 下	○	◎	◎	◎	②呼びかけ 接続語 ③一課題追究型	再録
「広い言葉、せまい言葉」 (福沢周亮)	教出 3 下	○	◎	◎	○	②問いかけなし解説文 ③紹介型 尾括型	
「かるた」	光村 3 下		◎		◎	②短歌のリズム ④昔の人の知恵	百人一首
「もうどう犬の訓練」 (吉原順平)	東書 3 下	○	◎	◎	○	②問いかけなし解説文 接続語 ③課題発展型 (二例対比)	
「人をつつむ形-世界の 家めぐり」 (小松義夫)	東書 3 下	○	◎	◎	○	②問いなし解説文 絵や写真 題名の意味 ③一課題解説型 (三例比較解説)	
「ミラクル ミルク」 (中西敏夫)	学図 3 下	○	◎	◎	○	②解説-問いかけ-解決-まとめ 絵や写真 ③一課題多例示型 尾括型	
「冬眠する動物たち」	学図 3 下	○	◎	◎	○	②問いと答え ③一課題追究型 (二例対比説明) 尾括型	

【表8】第4学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】

(担当：川畑秀成)

「学習材名」(筆者・作者) ※ ■ は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		① 素材	② 表現	③ 構成	④ 作品		
「白いぼうし」 (あまんきみこ)	学図 4 上 光村 4 上 三省堂 4	○	○	○	○	①人物像 ②心情表現 会話文 擬態語 色彩語 イメージの広がり (色・夏みかんのかおり) ③象徴 題名の意味	
「やい、とかげ」 (舟崎靖子)	教出 4 上	○	○	○	○	②文体 繰り返し 比喻 対比 情景描写 ③入れ子型 (回想) ④一人称視点	
「こわれた千の楽器」 (野呂さか)	東書 4 上	○	○	○	○	①人物像 ②会話文 情景描写	
「走れ」 (村中李衣)	東書 4 上	○	○	○	○	②会話文 行動描写 ③人物の転換	
「一つの花」 (今西祐行)	光村 4 上 教出 4 上 東書 4 上 三省堂 4	○	○	○	○	②対比 (戦中と十年後) 象徴→題名の意味 「一つ」の意味 ③時代背景 ④戦争文学として	戦争文学
「かげ」 (ニコライ=スラトコフ)	光村 4 上	○	○	○	○	②行動描写 情景描写	
「茂吉のねこ」 (松谷みよ子)	光村 4 上	○	○	○	○	①人物像 ②心情表現 会話文 擬声語 擬態語 ③展開の予測	
「三つのお願い」 (ルシール=クリフトン)	光村 4 上	○	○	○	○	①設定 人物の変容 ②会話文 行動描写	
「初雪のふる日」 (安房直子)	光村 4 上	○	○	○	○	②心情描写 情景描写 行動描写 色彩語 ④読後感の発信	
「りんご畑の九月」 (後藤竜二)	学図 4 上	○	○	○	○	①人物像 ②会話文 ③展開の予測	資料編
「いわたくんちのおばあちゃん」 (天野夏美)	三省堂 4	○	○	○	○	①人物像 ③額縁構造 (現在-過去-現在) ④戦争文学として	戦争文学 東書 5 上
「あたまにつまった石ころが」 (キャロル=オーティス=ハースト)	三省堂 4	○	○	○	○	①人物像 ④作品への共鳴	
「皇帝の新しい着物」 (アンデルセン)	三省堂 4	○	○	○	○	①人物像 ②会話文 ④自己の生き方への反映	資料編 世界の童話
「谷間にかかったにじの橋」 (今西祐行)	教出 4 上	○	○	○	○	①伝記的物語 視点人物 人物像 ②行動描写 ③困難の解決	付録
「ごんぎつね」 (新美南吉)	東書 4 下 光村 4 下 教出 4 下 学図 4 下 三省堂 4	○	○	○	○	①人物像 呼称表現 変容→すれちがいと通じ合い ②情景描写 色彩語 ③クライマックス	全社載録
「世界一美しいほくの村」 (小林豊)	東書 4 下	○	○	○	○	③時代背景 ④戦争文学として	戦争文学
「木竜うるし」 (木下順二)	東書 4 下	○	○	○	○	①人物の変容 ②会話文 心情描写 ③人物の転換点	脚本 学図 5 下
「夕鶴」 (木下順二)	教出 4 下	○	○	○	○	①設定(民話より) 人物の変容 ②会話文行動描写 ③展開予測 ④生き方を考える	民話 再録
「ポレポレ」 (西村まり子)	学図 4 下	○	○	○	○	②会話文 ③題名の意味 ④作品の面白さ	
「世界で一番やかましい音」 (ベンジャミン=エルキン)	学図 4 下	○	○	○	○	②心情表現 ③展開の予測 題名の意味	東書 5 上 所収

【表9】第4学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】

(担当：川畑秀成)

「学習材名」(筆者・作者) ※ ■ は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		① 素材	② 表現	③ 構成	④ 作品		
「ヤドカリとイソギンチャク」 (武田正倫)	東書 4 上	○	○	○	○	②問いと答え ③段落構成 (仮説検証型)	
「広告と説明書を読みくらべよう」	東書 4 上	○	○	○	△	①事例 ②順序 写真や絵 レイアウト	
「『着るロボット』を作る」 (小林宏)	東書 4 上	○	○	○	○	②事実と意見 ③インタビュー記事と説明文の比較 ④考えの発信	
「大きな力を出す」 (西島尚彦)	光村 4 上	○	○	○	○	②文末表現 事実と意見 ③段落構成 (双括型)	
「動いて、考えて、また動く」 (高野進)	光村 4 上	○	○	○	○	②文末表現 事実と意見 図 ③段落構成 (双括型)	
「手と心で読む」 (大島健甫)	光村 4 上	○	○	○	○	①事例 (点字を通して課題設定) ④課題に対しての調査・考えの発信	
「アップとルーズで伝える」 (中谷日出)	光村 4 上	○	○	○	○	①二例示比較 ②問いと答え 写真 ③段落構成 (尾括型)	

「アーチ橋の進歩」 (小山田了三)	教出 4 上	○	◎	◎	○	①中心語句 ②写真 ③段落構成 (一課題多面分析型)	一部改
「とんぼの楽園づくり」 (森清和)	教出 4 上	○	◎	◎	○	②事実と意見 ③段落構成 (一課題追究分析型)	付録
「むささびのひみつ」	学図 4 上	○	◎	◎	○	②問いと答え 接続語 ③段落構成 (一課題追究型)	
「あめんぼはにん者か」 (日高敏隆)	学図 4 上	○	◎	◎	○	②問いと答え 接続語 ③段落構成 (一課題追究型)	
「打ち上げ花火のひみつ」 (冨木一馬)	三省堂 4	○	◎	◎	○	②問いと答え ③段落構成 (一課題追求型)	
「月のかげ絵」 (藤井旭)	三省堂 4	○	◎	◎	○	②接続語 ③段落構成 (一事例解説型)	
「じゃんけんのしくみ」 (加藤良平)	三省堂 4	○	○	◎	◎	③段落構成 (一課題多例示型) ④発展課題追究	
「より確かに、 より豊かに読む」	三省堂 4	◎	○	○	◎	①引用文との比較 ④自己の考え方への反映	資料編
「ちょっと自まんだくて」 理科好きに	三省堂 4	◎	○	○	◎	①インタビュー ④自己の生き方への反映	資料編
「ウナギのなぞを追って」 (塚本勝巳)	光村 4 下	◎	◎	○	○	①要約 ②事実と意見 地図や図表	
「花を見つける手がかり」 (吉原順平)	教出 4 下	◎	◎	◎	○	①中心語句 ②結果と結論 ③段落構成 (仮説検証型) (消去法)	
「便利ということ」 (太田正巳)	教出 4 下	○	◎	◎	○	②事実と意見 ③段落構成 (一課題多例示型) (尾括型)	
「いるかのひみつ」 (倉橋和彦)	教出 4 下	○	◎	◎	○	②写真や図 ③段落構成 (仮説検証型)	付録
「くらしの中の和と洋」	東書 4 下	◎	◎	◎	○	①一課題二面分析 (比較) ②接続語 ③段落構成 (尾括型)	
「手で食べる、 はして食べる」 (森枝卓士)	学図 4 下	○	◎	◎	◎	②問いと答え 接続語 ③段落構成 (二例示比較検討型) ④国際理解	
「点字を通して考える」 (黒崎恵津子)	学図 4 下	◎	◎	○	◎	①事例 (点字について) ②事実と意見 ④自分の考えの発信	

【表10】第5学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】

(担当：吉永安里)

「学習材名」(筆者・作者) ※■は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		①素材	②表現	③構成	④作品		
「五月になれば」 (加藤多一)	教出 5 上	◎	◎	◎	○	①人物像 心情表現 ②擬音語 ③題名の意味 全体構成 (現在一過去一未来)	
「だいじょうぶ だいじょうぶ」 (いとうひろし)	東書 5 上	◎	○	○	◎	①登場人物 人物像 ④作品への共鳴	
「世界でいちばんやかましい音」 (ベンジャミン・エルキン)	東書 5 上	○	◎	◎	○	②心情表現 ③展開の予測、題名の意味	学図 4 下 所収
「いわたくんちの おばあちゃん」 (天野夏美)	東書 5 上	◎	○	◎	◎	①人物像 ③額縁構造 (現在 - 過去 - 現在) ④戦争文学として	付録 戦争 三省堂 4
「トーチカと鉛」 (佐藤雅彦)	学図 5 上	◎	○	◎	○	①人物像 設定 (場、人物) 人物描写 の特徴 ③伏線	
「あめ玉」 (新美南吉)	光村 5	◎	○	◎	○	①人物像 設定 (場、人物) ③伏線 展開の予想	
「のどがかわいた」 (ウーリー＝オルレブ)	光村 5	◎	◎	○	○	①人物像 人物関係の変容 ②行動描写 情景描写	
「百年後のふるさとを守る」 (河田恵昭)	光村 5	◎	○	○	◎	①人物像 題材 ④自己の生き方への反映	
「わらぐつの中の神様」 (杉みき子)	光村 5	◎	◎	◎	○	①人物像 設定 ②対比・類比・比喻 ③額縁構造 (現在一過去一現在)	
「雪女」 (松谷みよ子)	光村 5	○	◎	◎	○	②語り口 (民話調) ③展開の予測 (伏線)	付録 民話
「カニモトくん」 (ときありえ)	三省堂 5	◎	◎	○	○	①人物像 呼称表現 ②心情表現 行動描写 会話文	
「競走」 (佐藤雅彦)	三省堂 5	○	◎	○	○	②情景描写	
「洪庵のたいまつ」 (司馬遼太郎)	三省堂 5	○	◎	◎	◎	②文体の効果 ③象徴→題名の意味 ④自己の生き方への反映	
「あいつの年賀状」 (重松清)	三省堂 5	◎	◎	◎	○	①人物の気持ちの変化 人物の関係 ②会話文 心情表現 ③出来事	資料編
「プレーメンの町の楽隊」 (グリム兄弟)	三省堂 5	◎	○	◎	○	①人物像 ③展開のおもしろさ	資料編 世界の童話
「大造じいさんとがん」 「大造じいさんとガン」 (椋鳩十)	教出 5 上 学図 5 下 光村 三省堂	◎	◎	◎	○	①人物像 視点の転換 ②情景描写 心情表現 ③クライマックス	
「注文の多い料理店」 (宮澤賢治)	学図 5 上 東書 5 下	◎	○	◎	◎	①人物像 ③伏線 展開の予測 ④主題	

「雪わたり」 (宮澤賢治)	教出 5 下	◎	◎	○	○	①人物関係の変化 ②文体 情景描写 オノマトペ	三省堂 6 年
「木竜うるし」 (木下順二)	学図 5 下	◎	◎	◎	○	①人物の変容 ②会話文 心情描写 ③人物の転換点	民話 東書 4 下

【表 1 1】第 5 学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】

(担当：吉永安里)

「学習材名」(筆者・作者) ※■は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		①素材	②表現	③構成	④作品		
「言葉と事実」 (福沢周亮)	教出 5 上	◎	◎	○	◎	①事例 中心となる語 ②事実と意見 ③主張を捉える	
「森林と健康」 (谷田貝光克)	教出 5 上	○	◎	◎	○	②順序 事実と意見 ③段落構成 (一課題他例示型)	付録
「動物の体と気候」 (増井光子)	東書 5 上	◎	○	◎	◎	①要旨 ③文章構成 多事例解説型	一部改編
「新聞記事を読み比べよう」	東書 5 上	○	◎	○	◎	①事実と意見 ④主張、表現の違いによる読み手への伝わり方の違い	
「見立てる」 (野口廣)	光村 5	◎	○	◎	◎	①事例 ③段落構成 (多事例解説、尾括型) ④結論・主張	
「生き物は円柱形」 (本川達雄)	光村 5	◎	○	◎	◎	①事例 ③段落構成 (双括型) ④結論・主張	
「百年後のふるさとを守る」 (河田恵昭)	光村 5	◎	△	○	◎	①人物像 題材 ④自己の生き方への反映	
「天気を予想する」 (武田康男)	光村 5	○	◎	◎	○	②つなぎ言葉、図・表 ③問いと答えの構造	
「千年の釘にいどむ」 (内藤誠吾)	光村 5	◎	○	○	◎	①事例 ④自己の生き方への反映	
「ゆるやかにつながるインターネット」 (池田謙一)	光村 5	◎	○	○	◎	①反証事例 ④結論・主張	
「ニュース番組作りの現場から」 (清水建宇)	光村 5	○	◎	◎	○	②時間を表す表現 ③段落構成 (時間の順序)	付録
「『十秒』が命を守る」 (松森敏幸)	三省堂 5	○	○	◎	◎	③段落構成 (尾括型) 多事例解説型 ④自己の生き方への反映	
「動物の『言葉』 人間の『言葉』」 (池上嘉彦)	三省堂 5	◎	○	○	◎	①事例、題名 ③多事例解説型	
「コウノトリが教えてくれた」 (池田啓)	三省堂 5	◎	○	○	◎	①事例 ④事例への共感・自己の生き方への反映	
「メディアとのつき合い方」 (堀田龍也)	三省堂 5	○	◎	◎	◎	②小見出し ③段落構成 (双括型) ④自己の生き方への反映	資料編
「一枚の絵を言葉で書いてみる」 (金田一秀穂)	三省堂 5	○	◎	○	◎	③文体 (読み手に語りかける) ④自己の生き方への反映	資料編
「もったいない」 (吉野信吾、小野寺慎一郎)	三省堂 5	○	◎	○	◎	②文体 (リズム) ④自己の生き方への反映	資料編
「まんがの方法」 (石田佐恵子)	教出 5 下	○	◎	◎	○	②つなぎ言葉 図 (まんが) ③多事例解説型	
「世界遺産 白神山地からの提言」 (斉藤宗勝、牧田肇、他資料)	教出 5 下	◎	○	○	◎	①事例の多様性 ④自分の考えの発信	
「手塚治虫」()	東書 5 下	◎	○	○	◎	①人物像 ④自己の生き方への反映	伝記
「みずゝさがしの旅」 (矢崎節夫)	教出 5 下	◎	○	○	◎	①事例 ④筆者への共感 自己の生き方への反映	

【表 1 2】第 6 学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【文学編】

(担当：細川太輔)

「学習材名」(筆者・作者) ※■は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		①素材	②表現	③構成	④作品		
「薫風」 (黛まどか)	教出 6 上	○	◎	◎	○	②文体 ③書き出しの工夫、経験の部分、意見の部分の区別	随筆
「迷う」 (日高敏隆)	教出 6 上	○	◎	◎	○	②文体 ③経験の部分と意見の部分の区別 ④「迷い」に対する自分の意見	随筆
「カレーライス」 (重松清)	光村 6	○	○	◎	◎	①視点人物 ②文末表現 ③クライマックス題名の意味 ④自分の考え方への反映	
「風切るつばさ」 (木村裕一)	東書 6 上	◎	○	○	◎	①登場人物の性格 ④クルルが飛べた理由	
「みちくさ」 (阿部夏丸)	学図 6 上	◎	○	○	◎	①人物の心情の変化、関係の変化を読む ④友情に対する自分の考えを深める	

「竜」 (今江祥智)	三省堂 6	○	◎	◎	○	②昔話調の言葉に気をつけて読む ③三太郎が神にまつられた面白さを構成から読む	
「ばらの谷」 (高山貴久子)	東書 6 上	◎	◎	○	◎	①登場人物 ②いろいろな色のバラが何を表しているか ④ドラゴンが気づいたこと	
「子供は『未来人』」 (石子順)	学図 6 上	◎	○	○	◎	①手塚治の人物 ④手塚治の願い	伝記
「紅鯉」 (丘修三)	三省堂 6	◎	○	○	◎	①紅鯉に対する修、ぼくの思い ④ぼくの気持ちの変化	
「ブラッキーの話」 (梨木香歩)	教出 6 上	◎	○	◎	○	①ブラッキーと母との関係 ③物語の時間に気をつけて読む	*資料編
「桃花片」 (岡野薫子)	東書 6 上	◎	○	◎	◎	①登場人物の設定 ③場面ごとの楊の年齢 ④陶器に込められた親子の心情	*資料編
「ロシアパン」 (高橋正亮)	学図 6 上	○	○	◎	◎	③現在と昔の区別 ④ロシアパンに対する作者の思い	*資料編
「川とノリオ」 (いぬいとみこ)	教出 6 上	◎	◎	○	○	①視点人物に気づかせる ②青色、婉曲的な表現、「川」のもつ象徴の意味	
「海の命 (いのち)」 (立松和平)	光村 6 東書 6 下	○	◎	○	◎	②村一番の漁師と一人前の漁師の違い ④命のつながりについて考える	
「やまなし」 「イーハトーブの夢」 (宮沢賢治) (畑山博)	光村 6	○	◎	◎	◎	②クラムボンなど言葉の意味を考える ③5月と12月の比較 ④賢治の生き方	伝記
「きつねの窓」 (安房直子)	教出 6 下 学図 6 下	○	◎	◎	○	②窓、青の象徴の意味 ③ファンタジー部分、現実部分の違い	
「ヒロシマのうた」 (今西祐行)	東書 6 下	◎	◎	○	◎	①人物や戦争の設定 ②戦争の様子、ヒロ子の心情などの受容 ④平和に対する考え	
「まほう使いのチョコレート・ケーキ」 (マーガレット＝マーヒー 石井桃子訳)	三省堂 6	◎	○	◎	○	①遊びに来た子どもたちがどうい子か ②書き出しの効果、時間の流れを読みとる	
「森へ」 (星野道夫)	光村 6	○	◎	○	◎	②文体、表現の味わい ④筆者の感動	読書
「伊能忠敬」 (国松俊英)	教出 6 下	○	○	◎	◎	③時間の流れに気をつけて読む ④伊能忠敬の生き方を行動から考える	伝記
「フリードルとテレジンの小さな画家たち」 (野村路子)	学図 6 下	◎	○	◎	◎	③いつの話か時間の変化に気をつけて読む ④文章・絵から感じたことを書く	ノンフィクション
「猿橋勝子」 (堀切和雅)	三省堂 6	○	○	◎	◎	③場面ごとの時代 ④猿橋勝子の生き方に感想をもつ	伝記
「雪わたり」 (宮沢賢治)	三省堂 6	○	◎	◎	○	②宮沢賢治特有の表現を楽しむ ③きつねの世界、人間の世界の違い	教出 5 下
「いのち」「きみへ」 (日野原重明)	教出 6 下	◎	○	○	◎	①筆者の命に対する考え方 ④筆者の願い	随筆
「言葉の橋」 (宮地裕)	光村 6	○	◎	○	◎	②詩を解釈する ④言葉について考える	随筆
「君たちに伝えたいこと」 (日野原重明)	東書 6 下	◎	○	○	◎	①寿命に対する筆者の考え ④筆者の願い	随筆
「いのちのバトンリレー」 (新井満)	学図 6 下	◎	○	○	◎	①題名の意味 ④どのように生きていきたいか考えを深める	随筆
「子供たちを救いたい」 (真鍋和子)	教出 6 下	◎	○	◎	◎	①オードリー・ヘプバーンの人物を読む ③時代背景と結び付けながら読む ④平和についての自分の考え	*資料編 伝記
「自分を支える言葉」 (岡本夏木)	教出 6 下	○	◎	○	◎	②「どうもない」という言葉について読む ④自分を支えてくれる一言を読む	*資料編 随筆
「宇宙飛行士—ぼくが いだいた夢」 (野口聡一)	光村 6	◎	○	○	◎	①筆者の宇宙に対する思い ④筆者の願い	*付録
「変身したミンミンゼミ」 (河合雅雄)	光村 6	◎	○	◎	○	①登場人物の性格 ③作品のおもしろさを引き出す構成の工夫	*付録
「河鹿の屏風」 (岸なみ)	光村 6	◎	○	○	◎	①話の設定を読む ④話の不思議さを楽しみながら読む	*付録
「仙人」 (芥川龍之介)	三省堂 6	◎	◎	○	○	①話のおもしろいところを探して読む ②会話文から昔話調の文を読む	*別冊
「アディ・ニハアスの英雄」「黄金の土」 (ハロルド＝クーランダー、 ウルフ＝レスロー作 渡辺茂男訳)	三省堂 6	◎	○	○	◎	①話のおもしろいところを読む ①お話の深いところを読む	*別冊 *別冊
「字のないはがき」 (向田邦子)	三省堂 6	◎	○	○	◎	①戦時中という話の設定 ④父親の人物像	*別冊 随筆
「少数意見」 (湯川秀樹)	三省堂 6	◎	○	○	◎	①「人間万事塞翁が馬」の意味 ④少数意見に対する筆者の考え	*別冊 随筆

【表13】第6学年 学習材の特性から見た「読みのフレーム」指導の一覧【説明文編】

(担当：細川 太輔)

「学習材名」(筆者・作者) ※■は新教材	出版社	読みのフレーム				重点化して指導したいこと	備考
		① 素材	② 表現	③ 構成	④ 作品		
「日本語をコンピュータで書き表す」 (近藤泰弘)	教出6上	◎	○	○	◎	①自分の経験と結びつけながら読む ④主張をとらえ、疑問をもつ	
「感情」 (茂木健一郎)	光村6	○	○	◎	◎	①キーワード ③反対意見と反論 ④主張をとらえ、自分の考えをもつ	
「生きものはつながりの中に」	光村6	○	◎	◎	◎	①要旨 ②同じではないとは？ ③ロボットを例にした理由 ④主張をとらえ、自分の考えをもつ	
「イースター島にはなぜ森林がないのか」	東書6上	◎	◎	○	◎	②イースター島の設定を読む ②事実と意見 ④自然と人間の関係を考える	
「新聞の投書を読み比べよう」	東書6上	○	◎	◎	○	②筆者の書き方を読む ③反対意見・反論の書き方	コラム
「自分の脳を自分で育てる」 (川島隆太)	学図6上	○	◎	○	◎	②図表とつなげて読む ④事実と意見の区別とそのつながり	
「宇宙時代を生きる」 (野口聡一)	三省堂6	◎	○	○	◎	①筆者が宇宙で感じたこと ④筆者の願い	*付録
「さるは『ココ』とないていた」 (山口伸美)	教出6上	○	○	◎	◎	①総括型 ④言葉と時代の関係	*付録
「江戸のファーストフード」 (大久保洋子)	学図6上	◎	○	○	◎	①江戸時代の食生活 ④現代のファーストフード、スローフードと比較して筆者の主張を検討する	*付録
「はくの世界、きみの世界」 (西研)	教出6下	◎	○	○	◎	①自分の経験と結びつけながら読む ④自分のものの見方について考える	
「平和のとりでを築く」	光村6	○	◎	○	◎	②言葉一つ一つを受容して読む ④平和に対して自分なりの考えをもつ	
「『鳥獣戯画』を読む」	光村6	○	◎	○	◎	②絵と文章の関連 ④筆者のものの考え方	
「未来に生かす自然のエネルギー」	東書6下	○	◎	○	◎	②図表と関連づけて読む ④筆者の主張に対して自分の考えをもつ	
「メディア・リテラシー入門」 (池上彰)	学図6下	◎	○	○	◎	③メディアの特質、違いを読む ④筆者の主張からメディアに対する姿勢を考える	
「『なべ』の国、日本」 (渡辺あきこ)	三省堂6	○	◎	◎	○	②写真や図表と関連させて読む ③好まれる理由の書き方から論理的な文章の書き方を知る	
「二十一世紀に生きる君たちへ」 (司馬遼太郎)	教出6下 三省堂6	◎	○	○	◎	①筆者の考えと歴史の知識との関連づけ ④筆者の願い	論説文 (随筆)
「言葉は動く」	光村6	○	○	◎	◎	③事例の適切性について ④言葉と生活について考える	
「雨のいろいろ」	東書6下	○	◎	○	○	②日本人が雨に対していろいろな言葉を使っていたことを読む	
「数え方でみがく日本語」	東書6下	○	◎	○	◎	②数詞の意義を読む ④自分の使っている言葉を見直す	
「世界危機遺産ガラパゴス」 (藤原幸一)	学図6下	○	◎	◎	◎	②年表や図表と重ね合わせて読む ③筆者の論理展開の意味 ④筆者の主張に対する自分の考え	
「人類よ、宇宙人になれ」 (立花隆)	教出6下	◎	○	○	◎	①事例について妥当かどうか検討する ④筆者の主張に対して自分の考えをもつ	*付録 論説文
「『計算視力』を鍛えよう」 (鍵本聡)	三省堂6	◎	◎	○	○	①計算視力について読みとる ②横書きの文章の特徴を読む	*別冊

2. 2. 活用につながる「読むこと」の授業実践例

【表14】「読むこと」の授業実践における活用の活動例（平成21～22年度国語部内研究授業等より）

学年 (授業者)	単元名「学習材」	活用(単元の中で「何を」「どこで」どのように活用したか) *「読みのフレーム」は主なもののみアンダーラインで記し、言語活動についてはゴシック太字で記してある。
1年 (片山順)	くらべてよもう 「いきもののあし」「いろいろなくちばし」 「しっぽのやくめ」「どうぶつのはな」	四つの説明文を冒頭部分という観点から 比べ読み して、自分にとって分かりやすいか 評価 して話し合った。その読みとったことをもとにして クイズ大会 を開いた。
2年 (大塚)	声で届けよう音読劇 「アレクサンダとぜんまいねずみ」	二人の会話文や行動描写をとらえ、気持ちの変化を心情曲線に表した。人物の絵のイメージの違いもとらえさせながら 音読の工夫 をして 音読劇 を行った。
2年 (大塚)	おにさんこちら手のなるほうへ 「鬼の図鑑」他	図書館司書と協力して鬼の本の読書をしながらか、人物像をとらえて 索引や目次作り を行い、自分たちで描いた鬼の絵を図鑑にまとめた。読書生活への広がりを図った。
2年 (片山守)	3D音読を作ろう 「スイミー」	叙述から 想像する言葉 を付け足しながら 音読(3D音読) して、自分の言葉で表現する楽しさを味わった。その過程で 比喩 等について学習した。さらに、 同じ作者の本紹介 をし合い、読書生活への広がりを図った。
3年 (川畑)	読んで、語り手になって、伝えよう 「モチモチの木」	視点を使って語り手の豆太への気持ちを読み取らせながらか、人物像を読みとり、それ語りを生かして 音読の工夫 を行った。その 語り を5年生や保護者に披露した。
3年 (川畑)	自分の思いをもとう 「おにたのぼうし」	まことくんと女の子とを 対比 で読みとり、おにたの気持ちの変化を心情曲線に表した。他のあまきみこ作品を読書し、登場人物を「やさしさ」という観点から評価して 人物事典 を作った。
4年 (川畑)	物語の群読に挑戦 「一つの花」	グループによる 群読台本作り の話し合いにおいて、場面や人物の気持ちを対比を用いて叙述から想像した。さらに 群読発表会 を行った。
4年 (吉永)	4年2組「ごんぎつね新聞」 をお届けします! 「ごんぎつね」	対比を考えて人物像を読みとり、それを1時間ごとに 新聞記事 にまとめていった。その記事を使って次時の場面の読みとりを行い、習得と活用をスパイラルに行った。
5年 (細川)	グッとくる 「大造じいさん」 はどっちだ! 「大造じいさんとがん」	「前書き」があるなしの二つの文章から 構造・主題 を使って人物像を比べ読みし、 バタフライマップ を用いて整理したものを児童だけでの話し合いによって 主題 に迫っていった。さらに、 ポスター にまとめた。
5年 (細川)	筆者の論理を読む 「インスタント食品とわたしたちの生活」	インスタント食品等の調べ学習を行ってから、筆者の主張を使って読みとり、 意見文 を書いた。さらに自分たちの食生活をふりかえらせて 新聞 を作った。
5年 (吉永)	人物から作品の魅力に迫ろう 「わらぐつの中の神様」	おみつと大工の会話文や行動描写等から人物像をレーダーチャートにまとめ、その読みをもとにして、 話し合い を行い、さらに、まさえの 変容 を読みとった。
6年 (片山守)	読み合い、味わい、語り合おう 「カレーライス」	個読・交読・実読 という読みの過程を通して、 クライマックス の場所を心情曲線を用いながらか話し合った。さらに、 ポスター を作った。
6年 (細川)	生き方を考えよう 「やまなし」	賢治の生き方を知ることで、 象徴の意味 を児童だけでの話し合いにおいて考えさせた。さらに、自分の生き方をふりかえらせて 卒業文集 につなげた。

*授業内容の詳細については、「平成20年度・平成21年度本校研究紀要」及び、本校研究著書「啜啄同機」(東洋館2011)に詳しい。

3 成果と課題

3. 1. 研究の成果

「活用」につながる単元を構想して実践することで、「読むこと」の学習において「読みのフレーム」の有用性を確信することができた。

実際の授業では、時には「読みのフレーム」の学習用語を教師が示して児童に使わせながら話し合いさせたりすることで、学習の蓄積を実感することができていた。学びの連続性を、児童も教師も実感することで、次の学習に向けた意欲もわいてきた。また、「活用」を意識した単元を構想することで、児童も教師も単元の終末に向かって**学習の見通しをもつ**ことができた。学習の見通しが明確になると、何のために文章を読むのか、読んでどうなるのか、という不安をもつことなく学習を行うことができる。今回の授業で学んだことが活かされるという見通しをもつことは、児童の安心感と意欲につながっていった。

活用を意識した単元を構想することは必然的に、**児童の意欲的な言語活動を充実**させることになる。先の授業実践例を見ると、それぞれの単元において言語活動を行なっていることが分かる。そして、「読むこと」の単元においても、「話す・聞くこと」、「書くこと」を含めた総合的な活動が仕組まれている。

授業の実際においては、児童の内発的な動機を導き出しながら、教師のねらいに沿った言語活動を行うことが求められる。「読んだこと」を活かして、「読みながら」、「読んだ成果として」言語活動を行うことが、活用につながる「読むこと」の学習にとっては大切なことである。

3. 2. 今後の課題

「読みのフレーム」などで教師が児童に何をどう学ばせるか明確にしていくと、教師の学ばせたいことがらに基づいて教材を読むことが中心の授業になる傾向がある。そうになると児童の学ぶ必要感が薄れてしまい、児童の学習意欲の向上は望めない。教材研究を広く深く行うことの功罪を教師は肝に銘じなければならないだろう。

逆に、活用を取り入れることへの意識が中心になると、楽しく言語活動を行わせていればそれでよい授業ができたと思ってしまうことになる。いわゆる「活用ありき」の単元に陥ることになる。

つまり「活用」を意識した単元では、**児童の側からの学びと教師の側からの指導の一体化**を図るというバランスのとれた授業構想の意識が強く求められることになる。

今後も多くの教材の可能性を見抜き、魅力的な単元を構想し、検証を積み重ねていくようにしたい。